サウンド・ムービーのための

Beautiful Color. Beautiful Sound.

屋外でのカラー撮影に
デイライトタイプ
フジカラー R25
露光指数25(ASA相当) 15m巻
価格900円(現像料別)

電灯光下でのカラー撮影に
タングステンタイプ
フジカラー RT50
露光指数50(ASA相当) 15m巻
価格900円(現像料別)

屋外撮影のすべてに
ネオパン R50
露光指数50(ASA相当) 15m巻
価格520円(現像料別)

夜や屋内の撮影に
ネオパン R200
露光指数200(ASA相当) 15m巻
価格520円(現像料別)

高性能カセットテープ
富士フイルム
FMカセット
プラスチックケース入
C-60 価格 700円
C-90 価格1,100円

富士写真フイルム株式会社

●東京本社
東京都港区西麻布2−26−30 〒106
TEL 東京(03) 406−2111(大代表)

●札幌出張所
札幌市中央区大通り西5−11 大五ビル 〒060
TEL 札幌(011) 241−7161

●仙台出張所
仙台市本町1−1−8 日本オフィスビル 〒980
TEL 仙台(0222) 21−2601

●名古屋出張所
名古屋市中区栄2−10−19商工会議所ビル 〒460
TEL 名古屋(052) 221−6181

●大阪支社
大阪市東区備後町4−15 〒541
TEL 大阪(06) 203−5212

●広島出張所
広島市大手町2−11−15新大手町ビル 〒730
TEL 広島(0822) 48−0281

●福岡出張所
福岡市中央区天神1−14−1 日本生命ビル 〒810
TEL 福岡(092) 74−0231

●富士フォトサロン
東京都中央区銀座5−1先
スキヤ橋ショッピングセンター 〒104
TEL 東京(03) 571−9411

●フジカラーセンター
東京都中央区銀座5−3−1ソニービル 〒104
TEL 東京(03) 571−2964

FUJI FILM
Single-8
System

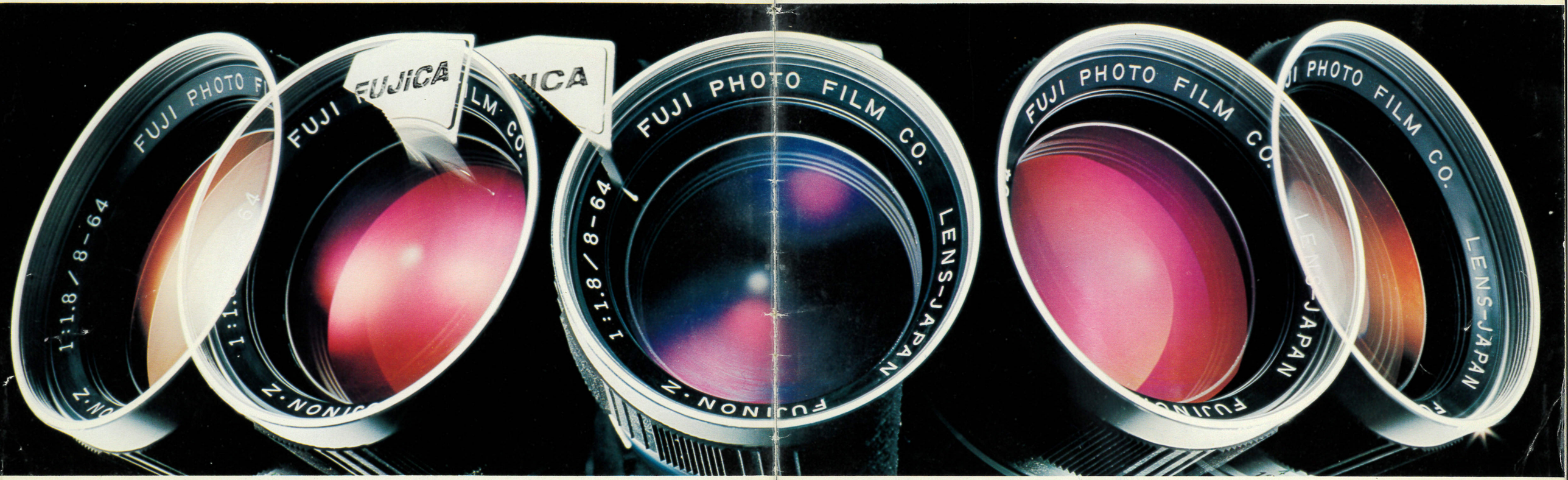
宣宣−72・5−CA−30−2①・MW

FUJICA Single-8 Z800

Z800

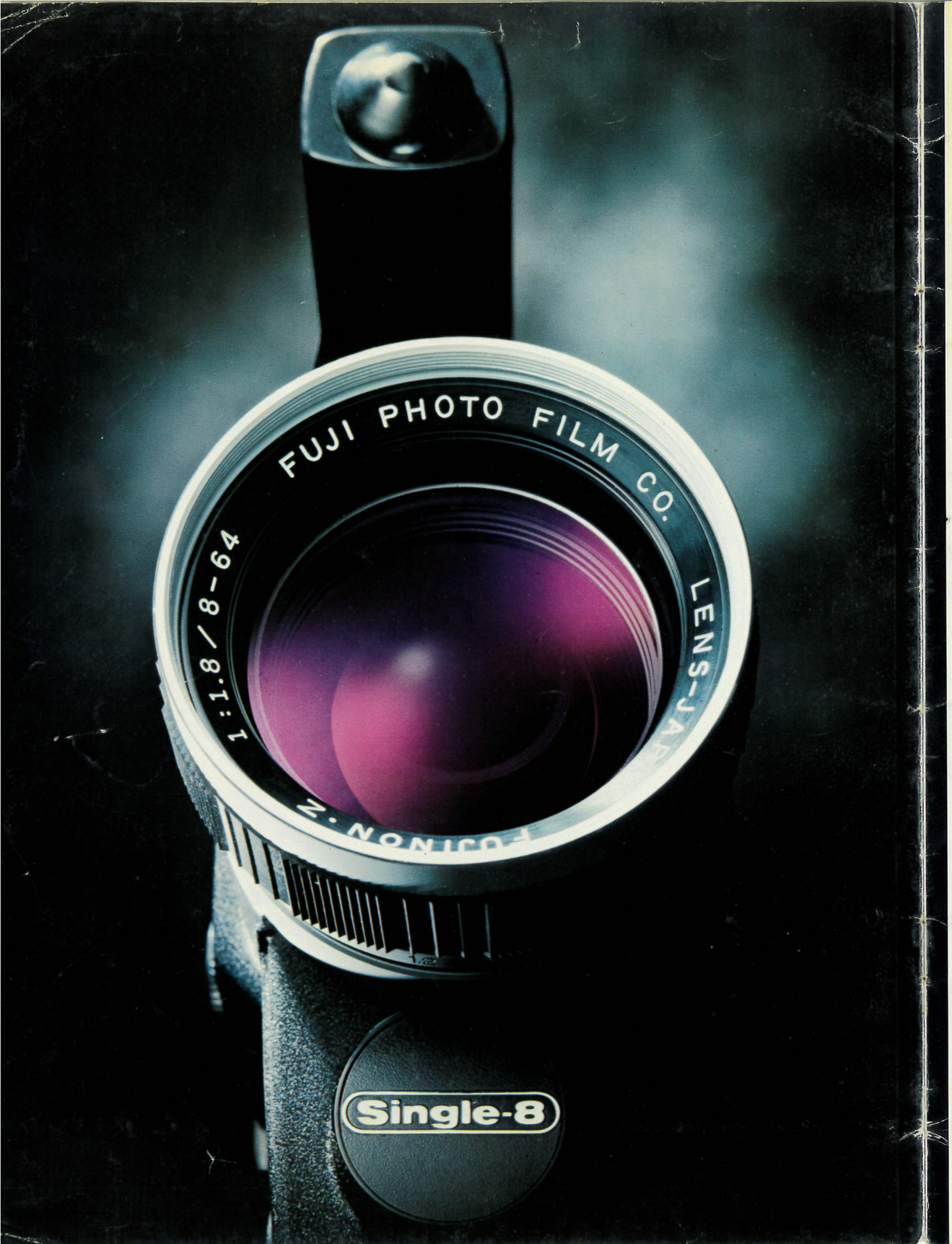
電子ビームコーティング

キレ者―EBC・8倍ズーム



富士フイルムが独自の技術で開発した、フレアーレスEBC(8ミリ初の電子ビームコーティング)採用の8倍ズーム。

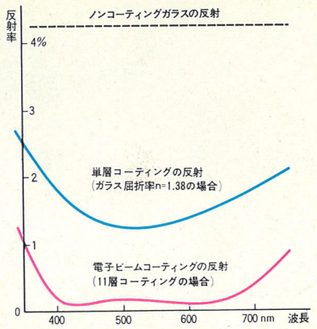
同時録音機構を持つフル装備のハイ・メカニズム。本格的サウンド時代を予告するエキサイティングな8ミリの誕生です。



光のタブーからの解放

8ミリの世界にシングル-8システムを導入した富士フイルムが、ふたたび8ミリ界にもたらした革命…8ミリを愛する人々すべてが長いあいだ夢見てきたマルチコーティング・レンズ=EBC(電子ビームコーティング)レンズを初めて採用しました。

いままでの多層コーティング方式とは異なり、真空中でコーティング物質に直接電子ビームを照射し、溶融・蒸着。これにより11層という画期的なコーティングに成功。レンズの反射防止・透過光量の増大・群を抜くカラーバランスと色の冴え、そしてフレアーの激減など——逆光や半逆光時はもとより、パンニングやズーミング時におこる露光の急激な変化からも、鮮明な画面を確保します。



さらにZ800は、シングル-8としては初めての高倍率8倍ズームを装備。コンパクトさに加え、自然なズーミングを可能にする対数カーブカムを使用。また、新機構の折りたたみ式グリップの採用により三脚使用時の不安定さを解消するなど、すみずみまで使いやすさを考えて設計されています。

Electron Beam Coating

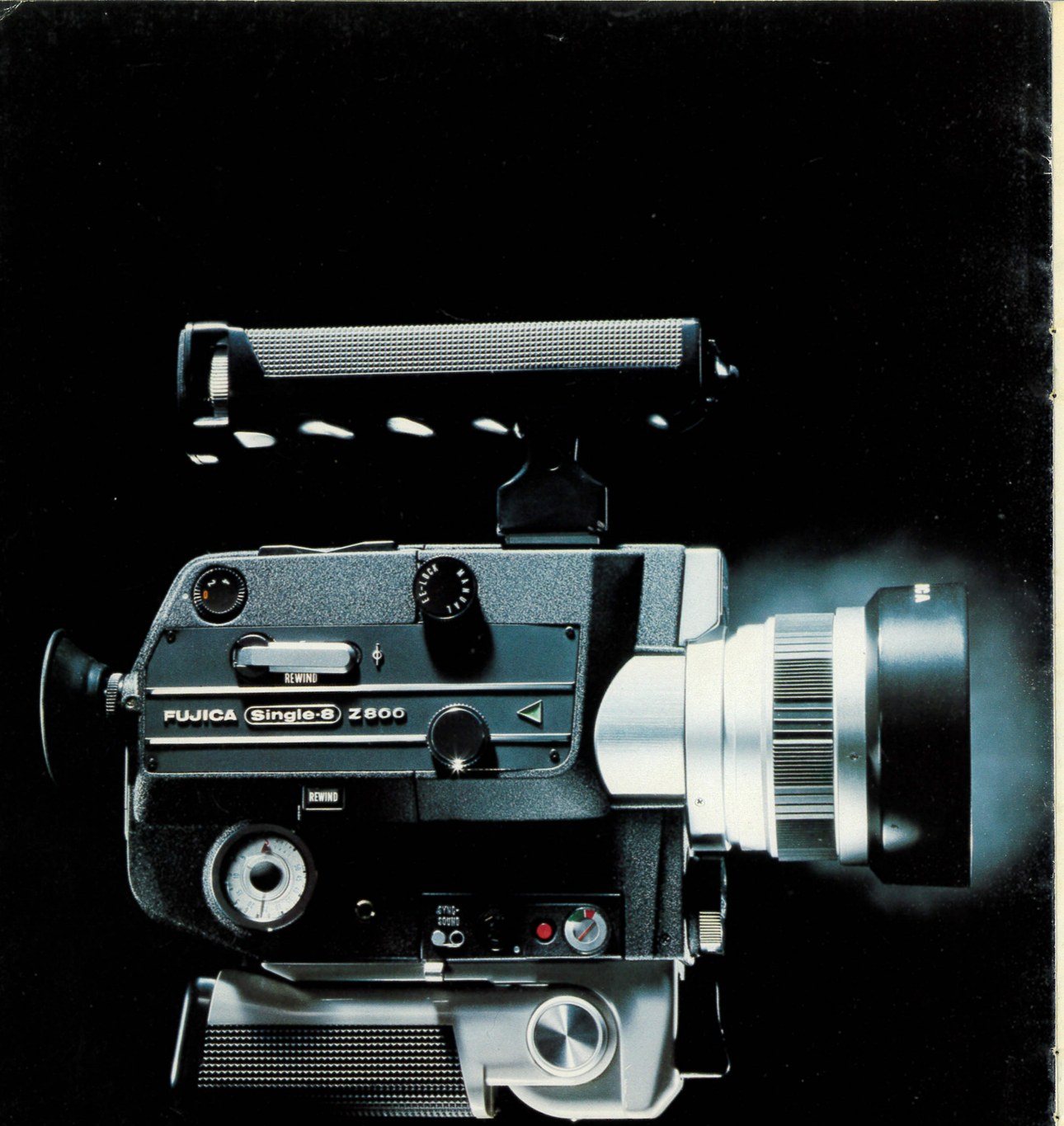
従来のコーティングの場合

EBC（電子ビームコーティング）の場合

8X Zoomlens

WIDE-8mm

TELE-64mm

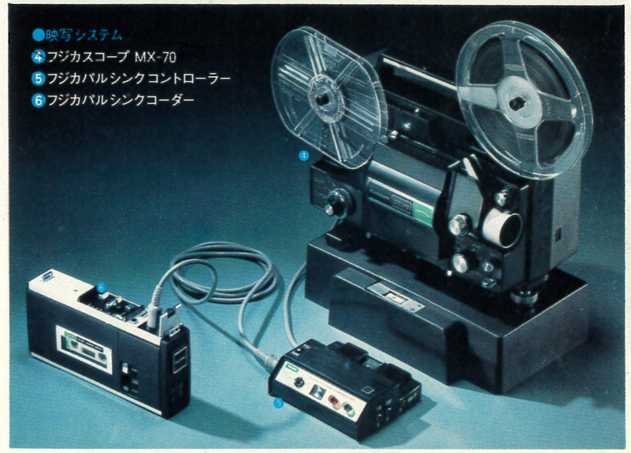


サイレントからの解放——パルシンクシステム

サイレントが常識とされていた8ミリ界に新しいサウンド8ミリ時代の到来をつげるパルス同時録音機構内蔵のZ800が登場しました。
困難なテクニックを必要とせず、音と画面がピタリと合うパルス同期による同時録音なので、撮影にだけ専念でき、映像テクニックは思いのまま。これで、いっそう現実性があり、いきいきした臨場感あふれる8ミリが楽しめます。
また、Z800の2段スイッチシャッター機構を生かし、一般のカセットテープレコーダーとのスタート同時録音もできます。

富士フイルムが、世界に先駆けて、新しいサウンド8ミリ時代の開幕を告げるエキサイティングなフジカパルシンクシステムを完成しました。

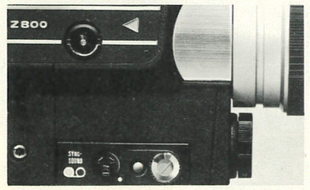
本格的サウンドシステムカメラZ800のほか、パルス式トーキー映画のための、専用テープレコーダー・映写機…など、専用機器によって構成されています。



●従来のFTSとの互換性をもたせています。

パルシンクシステムによるZ800の完璧なパルス同時録音

Z800のパルス同時録音は、パルスジェネレーターとパルシンクコーダーによってなされます。



Z800には、リップシンクロのためのシンクロカプラー（シャッター軸に直結しシャッターが、1回転してフィルムを1コマおくるごとに1回転する）が装備されています。それに、パルスジェネレーターを取りつけ、パルシンクコーダーを接続。
シャッターONと同時にパルスジェネレーターから、フィルム1コマごとに1パルスが発生、フィルムにスタートマークをつけます。そして、テープにもフィルムの走行状態をつたえるパルスが送りこまれ、完全な同時録音が行なわれます。
これを、パルス同期映写機MX70で映写すると、収録された現地音が、1コマ1コマ完全に同調し、映像とサウンドが生き生きとよみがえります。

Z800諸元

●レンズ
EBC FUJINON・Z 1:1.8　f=8～64mm　8倍ズーム
10群13枚構成(電子ビームコーティング)距離調節:
1.2m～∞ ズーム方式:電動及び手動切換式
フィルターサイズ:ネジ込み62φmm カプセ65φmm

●ファインダー
一眼レフ式　視度調節可能(−3～＋1diop)ロック付
表示:スプリットイメージ式 絞り表示(f/1.8～45)
露光警告 フィルム終了警告 シャッター開角度表示

●フィルム送り
電動モーター式　単3電池4本使用(フィルム10本撮影可能) 電池チェッカーあり
コマ速度:18、24コマ/秒 スローモーション(約36コマ) 1コマ撮り
巻戻し:手動クランク式　フィルムカウンター:0～15m 自動復元　巻戻しに連動 巻戻し表示

●シャッター
押しボタン式レリーズ 安全ロック装置付　ランロック可能 ケーブルレリーズ穴あり リモコン可能
開角度調節:連続可変式 0(160°) 2(80°) 4(40°)にロック可能及び●(120°)表示 クローズ(C)可能
シャッタースピード:1/40秒〈18コマ開角(0)セット〉～1/320秒〈SM開角(4)セット〉ストロボ同調(アクセサリーによる1コマ撮りの時可能) シンクロカプラーあり

●EE機構
サーボTTL 虹彩絞り EEロック機構付 メカニカルマニュアル絞り可能 絞り範囲:f/1.8～45
フィルム感度:自動セット ASA 25 50 100 200 400 EE補正:2倍 4倍 シャッター開角度による$\frac{3}{4}$ $\frac{1}{2}$ $\frac{1}{4}$可能 EE電源はフィルム送り電源と共通
シャッターボタン1段目でON-OFF

●録音機構
同時録音端子内蔵 専用テープレコーダーとパルスジェネレーターによる完全同調可能 スタートマーク表示

●その他
グリップ折りたたみ式 アクセサリー取付シュー

●寸法・重量
209×160×72mm 1.4kg

●カメラ
現金正価 73,300円
~~月賦定価 77,300円~~

●本体付属品
アイカップ150円　ハンドストラップ450円
レンズフード1,000円　キャリングケース3,900円

●別売付属品
ストロボ・シンクロナイザー 3,300円／テープコントロールコード1,800円／リモコンスイッチ　700円
Tグリップ3,300円／クローズアップレンズ2,500円
ソフトケース1,500円

いま、サウンド時代を予告するZ800。その全貌

Z800各部の名称

❶フード

❷ピントリング

スプリット・イメージの上下像が合致するようにあわせます。

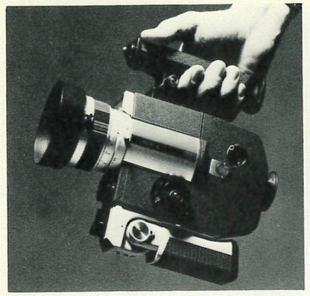
❸ピント目盛

❹ズームレバー

このレバーは手動ズーミングの時使用。

❺アクセサリー取つけ用シュー

Tグリップ、シネライトなどを取りつける。



❻シャッター開角度ダイヤル

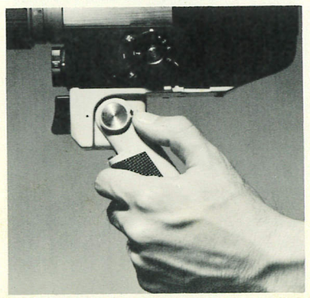
ダイヤルをまわすだけでシャッター羽根の開角度が変化して、絞りに関係なくフェーディングができます。

❼レリーズレバー

(R)は通常の場合。(RC)はリモコン用。(1)は1コマ撮影の場合です。

❽ランロック・グリップダイヤル

撮影時は(R)にセット。矢印を上に押し上げるとグリップが折りたためます。折りたたむと自然に(L)に戻り、シャッターがロックされます。



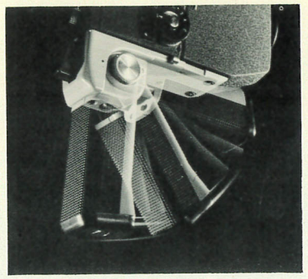
❾横ぶた開閉つまみ

❿フィルム(種類・送行)確認窓

⓫ストラップ取りつけ金具

⓬ファインダー接眼部

スプリット・イメージがはっきり見えるように接眼部をまわし、視度があったら固定リングで止めます。またアイカップを取りつけます。



⓭グリップ

三脚使用の場合は折りたたんで、手持の場合はグリップを立ててください。

⓮電池室ふた

⓯アイカップ

⓰パワーズーム・スイッチ

T(望遠)、またはW(広角)を押すと電動でズーミング(6秒)されます。ズーム比8倍。

⓱EE補正ダイヤル

通常はO(open)にセット。ダイヤルをまわすことにより受光量を補正します。

⓲EEロック・マニュアルダイヤル

ダイヤルを引きだすと絞り羽根がロックされ、さらにまわすと好みの絞りにセットできます。

⓳巻戻しクランク

⓴巻戻しボタン

㉑フィルム・カウンター

㉒シンクロ・カプラー

パルス式同時録音やストロボ同調撮影を行なうとき、別売アクセサリーのアダプターを取りつけます。

㉓録音ソケット

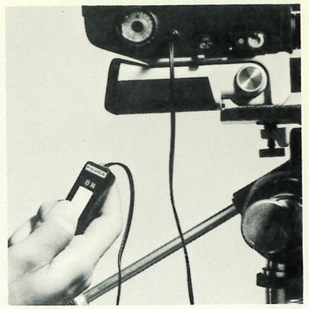
同時録音を行なうとき、別売コントロールコードで、テープレコーダーと接続します。

㉔バッテリーチェックボタン

㉕バッテリーチェック窓

㉖リモコンソケット

リモコン撮影のとき、別売リモコンスイッチ、またはフジカラジコンSのプラグを接続します。



㉗レンズ

FUJINON-Z(EBC)1:1.8 f=8～64mm

8倍ズーム

㉘コマ速度ダイヤル

㉙シャッターボタン

ケーブルレリーズ・ソケット

浅く押すとEE機構が働き、さらに押し込むとフィルムがスタートします。

別売アクセサリーTグリップは、ふだんは持ち運び用として、伸ばして使用すると手持ち撮影時の一脚に。また、接写マークまで伸ばせばクローズアップ・レンズの接写距離となります。

オート↔マニュアル…ワンタッチで自由に変えられる理想の絞り機構

明るさを正確に読みとるサーボTTL露光方式

サーボTTLは、私たちの眼と同じように被写体の明るさを正確に読みとって、素早く、確実に、絞りの開きぐあいを調節する理想のEE機構です。

現在、一般の8ミリカメラのTTL・EEは、レンズを通った光の明るさを絞りの前で読みとってメーター＝絞りを動かすという一方通行の指令伝達機構ですが、かりに、どこかに異常があっても、それをチェックすることはできません。しかし、サーボTTLは、単に明るさに応じて絞りを動かすのではなく、絞りを通過し、実際にフィルム面に達する光の量を測り、絞りの作動が正確であるかどうかを、つねに確認しながら絞りを動かす、フィードバック方式と呼ばれる自動制御機構をそなえています。

理想的な露光機構サーボTTLとは——

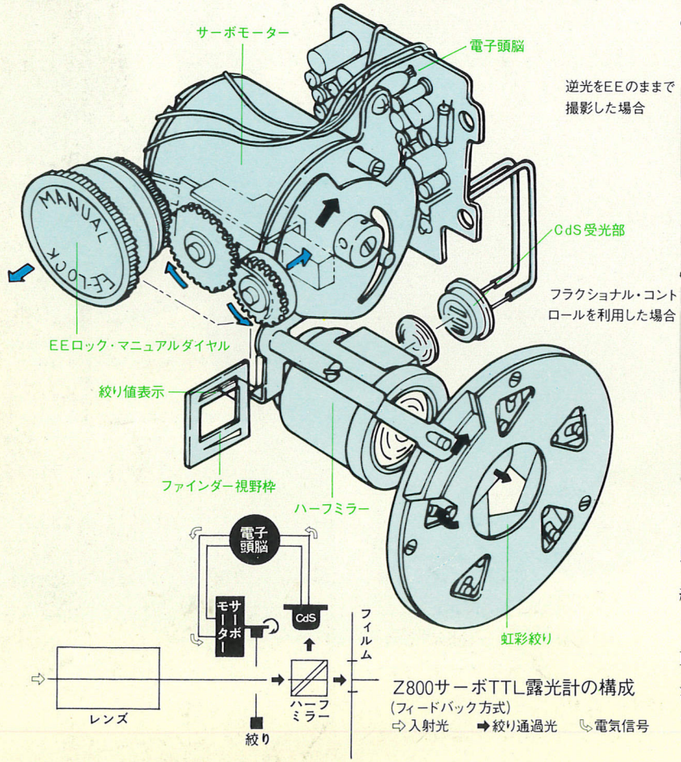
Z800のサーボTTLは、絞り羽根の後にCdS受光部があって、絞り羽根を通ってフィルムに達する光の量を測定し、使用フィルムに対して、露光が適正かどうかを電子頭脳が判断します。そして、もしその入射光量が適正値をこえると、ただちに電子頭脳はサーボモーターを回転させます。このモーターの回転によって、絞りが絞り込まれ、過剰な光を制限し、適正露光量に調節します。逆に、光量が減ると電子頭脳により絞りを開いて光量を増やすようにサーボモーターを作動させ、適正量に調節します。

このようにZ800のTTLは、つねに正確な露光が得られるよう、フィルムへの入射光量を確認しながら絞り羽根を動かす——フィードバック方式——自動制御機構になっています。

絞りを自由にコントロールできるEEロック

いままでのTTL・EEの欠点である露光の変化——カメラの前を人が歩いても明るさが変わり画面が見にくいとか、コントラストの高い被写体の急激な動作の場合などでEEのチラツキが起りそうなときには、ダイヤルを引き出すという簡単なEEロックによって、絞り羽根の不要な動きを安定させ、露光を自由に調整することができます。

フラクショナル・コントロール(露光補正調節)を利用しますと、2倍および4倍の露光を加えることもでき、またシャッター開角度ダイヤルで¾・½・¼に減らすことができ、フラクショナル・コントロールと開角度調節機構の組合せにより、½段階の露光調節も可能です。これらの操作でEEレンジ(有効範囲)はグンとひろがり、特殊な条件の被写体でも、つねに適正な露光でとらえることができます。



Z800サーボTTL露光計の構成
(フィードバック方式)
⇨入射光　➡絞り通過光　⤷電気信号

逆光をEEのままで撮影した場合

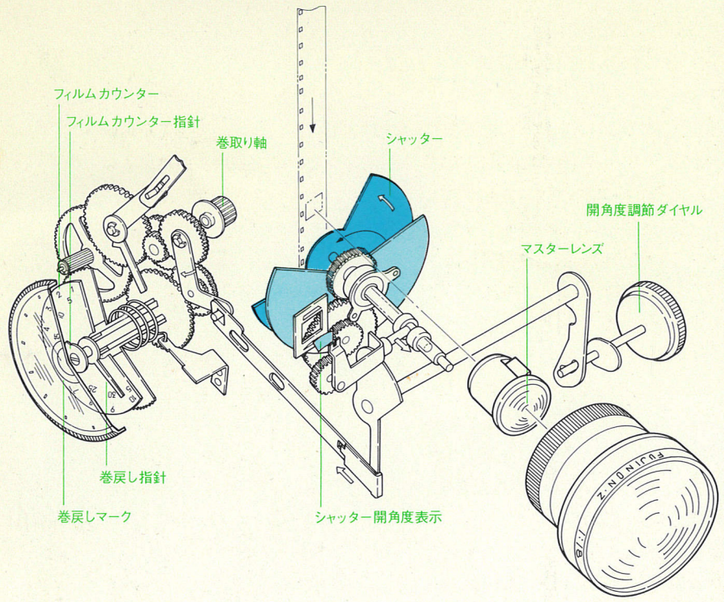
フラクショナル・コントロールを利用した場合

レンズ性能を最大限に生かす虹彩絞りを採用

絞りがf/45まで絞り込め(一般8ミリではf/16が限界)、一般の8ミリに比べEEの作動範囲がきわめて広く、山や海など極端に明るいところでも、NDフィルターなしで撮影できます。

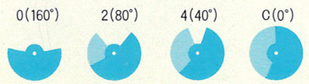
本格的ムービーづくりを実現する

シャッター開角度(S.O.C)方式＋巻き戻し機構



8ミリのあらゆるテクニックを駆使できるユニークな機構

絞りとは別に、シャッターの開角度調節のできる可動羽根を設け、露光を変えられる機構を採用。O(オープン＝160°)とC(クローズ＝0°)のあいだで羽根の開く角度を連続的に変えて露光を調節します。このため、フェードインやフェードアウトをはじめ、巻き戻しを併用してのオーバーラップ手法が、どのような明るさでも絞りの位置に関係なくスムーズにできます。



●シャッター開角度調節機構。
O(オープン=160°)と、C(クローズ=0°)のあいだで、シャッター羽根が開く角度を変えることによって、連続的に露光量が増減します。

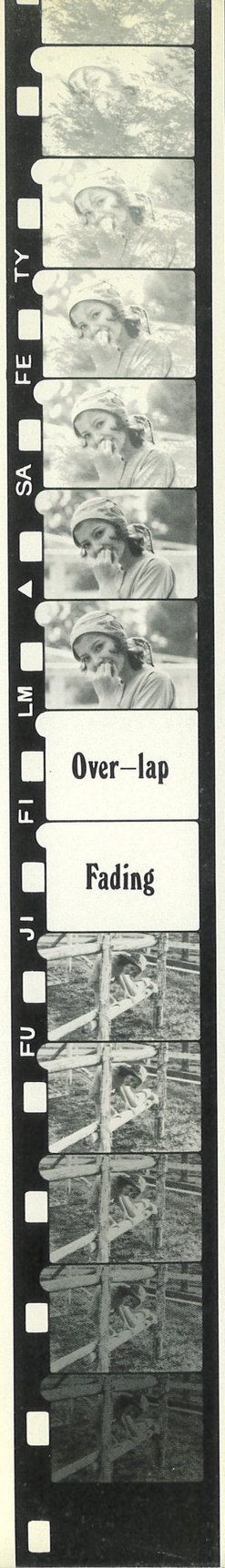
シャッタースピード

開角度→	O(160°)	2(80°)	4(40°)
18 コ マ	1/40秒	1/ 80秒	1/160秒
24 コ マ	1/54秒	1/108秒	1/216秒
SM(約36コマ)	1/80秒	1/160秒	1/320秒

●フェードイン／フェードアウト
開角度調節ダイヤルをまわすことにより、自由に、フェードインやフェードアウトができます。ダイヤルは、オープンからクローズまで等間隔となっていますから、スムーズな作動が行なえます。

●オーバーラップ
巻き戻し指針がフェードアウト開始と同時にスタートしますので、巻き戻し指針のスタート位置までフィルムを巻き戻すことにより、正確な長さのフィルムが巻き戻され、簡単に美しいオーバーラップ画面をつくることができます。この機構はシングル-8独自のもので、いままで面倒といわれていたオーバーラップを容易にしました。

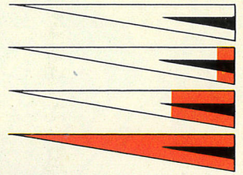
●1コマ撮影からスローモーション撮影も思いのまま——
標準の18コマのほか、24・36コマ(SM)、そして1コマまで、撮影の目的にあわせて自由に選ぶことができます。
とくにZ800は、1コマ撮影時にストロボ同調が可能となり、アニメーションやタイトル作製などに、高級テクニックを駆使したムービーづくりができます。



視野率100%のファインダー
撮影状態も集中管理

視野率100%の一眼レフ式ファインダー。被写体が見たそのままに写り、タイトルづくりなどで失敗がなくなりました。また、撮影時の各種情報を集中管理。カメラの状況を一目でチェックする便利な機構もそなえています。

- 距離合わせ用スプリット・イメージ
- 絞り値表示と露光不足警告
- フィルム終了警告(画面全体が赤くなってきます)。
- シャッター開角度表示(フェード量表示)。フェーディングのスピードや開角度が一目でわかります。



Z800専用アクセサリー

●本体付属品／❶レンズフード1,000円／❷アイカップ150円／❸ハンドストラップ450円／❹キャリングケース3,900円／●別売付属品／❺ストロボ・シンクロナイザー3,300円
❻テープコントロールコード1,800円／❼リモコンスイッチ700円／❽Tグリップ3,300円／❾クローズアップレンズ2,500円／❿ソフトケース1,500円

電子ビームの輝くとき——
新しいフジノンが生まれる。

富士フイルムが独自に開発した、画期的なマルチコーティング方式EBC(電子ビームコーティング)が、いままでレンズに求められてきた理想を、すべて実現。光学ガラスから一貫生産されるフジノンの、卓越した性能を生みだした総合技術の結晶です。

PHOTO:EBC蒸着装置